

## 黒姫山・飯縄山 山行報告

1. 目的地：黒姫山（標高 2053m） 飯縄山（標高 1917m）長野県北部
2. 日程：2007年10月6日（土）～7日（日）
3. 天候：1日目 晴れ 2日目 晴れ
4. 参加者：5名（男性3名・女性2名）
5. 参加費：14,500円（ガソリン代・高速代・宿泊代・運転手謝礼・入浴料・事故プール金）
6. コースタイム：1日目 黒姫山：種池登山口～しなの木～黒姫山頂上（昼食）～蜂ノ大池～新道分岐～

8:00 発 10:20 12:10～13:10 13:40 15:50  
種池登山口＝民宿リンドウ（泊）

16:40 17:00 着

2日目 飯縄山：民宿＝西登山口～飯縄山頂上～めのう山～西登山口～神告げ温泉

7:45 発 8:00 10:20～10:55 11:40 13:10 13:20 着

7. レベル：黒姫山：標高差約900m レベルC（登山中級）  
飯縄山：標高差約700m レベルB（登山初級）
8. 山行状況： 初日、登山口の種池バス停は駐車スペースが狭く、すでに満杯だったので、その少し先の駐車場に車をとめる。ここもほぼ満杯。黒姫山は人気があるようだ。寝不足なので、体をならすため、ゆっくり歩き始める。種池への分岐をパスして、ほどなく古池に出る。芭蕉の「古池や・・・」ではないが、森に囲まれた静かな池だ。黒姫山の麓は広葉樹の自然林が多い。自然保護派のC・W・ニコルさんもブナ林が好きで、この山の麓に居を構えているとのこと。登山道はどんどん深い森の中へ分け入っていく感じ。途中、山ぶどうにありつき、少々すっぱい秋の味覚を頂く。この先もずっと樹林の中の登りで展望はないが、大きな樹木の中を歩く気分は何とも心地よい。単調な登りが終わると、稜線に出て、展望がよくなる。先ほどの古池が深い森の中にぽっかりと見える。あれが頂上かなという目標をいくつも乗り越えて、ようやく黒姫山の頂上に立つ。妙高山が間近に見え、火打山、焼山、雨飾山などがくっきりと眺められる。戸隠山の向こうには北アルプスも見えて、黒姫山は予想以上に眺めのいい山でした。下りは、蜂ノ大池を回り、登りとは別ルートで少し遠回りをして駐車場に戻る。この日は戸隠の民宿泊まり。近くの「神告げ温泉」で疲れをいやすが、神様は私に何もお告げを下さらなかった。

二日目は、神告げ温泉の少し先の飯縄山西登山口から登り始める。樹林帯の中のなだらかな道をのんびり登る。きのこがポコポコ出ているが、どれも食べられなさそう。昔からの信仰の山らしく、中腹の森の中に「萱ノ宮」という小さな社がある。単調な樹林帯の登りが終わると、ようやく展望が開けて、志賀の横手山から浅間山の方までが、昨日よりもくっきりと見える。まもなく飯縄山神社があり、そこが頂上かと思ったら、さにあらず。頂上はその10分ほど先。もう一頑張りして、やっと飯縄山頂上に到着。頂上からの展望は、もう素晴らしいの一語につきる。東側には尾瀬の燧ヶ岳や至仏岳、苗場山などが遠くに見え、西側には戸隠山や高妻山、そして白馬岳から穂高岳まで北アルプス全山が眺められる。槍ヶ岳もはっきりと確認できる。下りは瑪瑙（メノウ）山経由で下山。このコースがまたよかった。昨日登った黒姫山や、その奥の火打山や焼山が印象的でした。しかし最後のところで近道をしようとして、スキー場の中を直滑降したら、ひどい藪の中に突っ込んでしまい、時間をくいました。教訓、急がば回れ。下山後、また神告げ温泉に入り、神のお告げ(?)を賜った後、メンバーお勤めの店で戸隠そばを食べる。これがまたうまかったことよ。

9 . 写真



黒姫山の登り



黒姫山頂上



黒姫山から焼山（左）と火打山



飯縄山を間近にして



飯縄山頂上



飯縄山の下り、戸隠山と高妻山（右）